

事務事業評価シート

H26(標準事業)

①基本事項	事業コード	事業名		部名	建設部
	08205-1	布気小野線整備事業		室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造		財	会計 一般会計
	基本施策	09:道路網の整備		務	款 土木費
	施策の方向	03:道路の安全性と防災機能の向上		科	項 道路橋梁費
系	戦略プロジェクト			目	目 道路新設改良費

②目的・概要	対象	市民
	目的・概要	布気小野線は、旧東海道として多くの観光客が利用するとともに、小野地区から神辺小学校への通学路として重要な道路である。本路線は、歩道が未整備のため、自動車と歩行者が交錯し、非常に危険な状態となっている。当事業により歩道整備を行い安全で安心な道路空間の整備を図りたい。

			24年度	25年度	26年度
③指標	活動	① 名称 道路整備の内容	計画値		測量・設計・工事
		補足 整備完了後は、安全で安心な歩道空間の確保が図れる。	実績値		測量・設計・工事
			単位		
	② 名称	計画値			
		補足	実績値		
			単位		
成果	① 名称 整備進捗率	計画値		20	
	補足 実施済み事業費/総事業費(40百万円)	実績値		20	
		単位		%	

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績					測量・設計 延長L=800m 工事 延長L=210m			
			計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	1,480
	事業費			29,000	2,185	一般職員人件費 ②	1,480	平均給与額×③
	国庫支出金			15,950	1,201	所要人員 ③	0.20	
	県支出金					臨時職員人件費 ④		
	地方債					受益者負担額 ⑤		
	その他					受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源			13,050	984			
	再掲	翌年度への繰越額		5,600				
		前年度からの繰越額						
				①	1,480			
				⑥	3,665			

⑤事業の評価	【事業の成果】	鈴鹿川堤防兼用道路である布気小野線歩道整備にあたり、関係機関との協議も行い一部工事まで進められた。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	社会資本交付金の配分が少ないなかで、どの様に財源確保に努めていくかが課題である。
	【改善の方向性】	今後は、年次計画の見直しを行い、事業の進捗を図っていきたい。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳
--------------	---------	-----------------------